

第3回 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会 議事概要

●第3回 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会

- ・日 時：令和4年2月14日(月)14:30~16:30
- ・場 所：四万十市社会福祉センター会議室
- ・出席者：四万十市長（WEB参加）、四万十市教育委員会教育長（WEB参加）、中村商工会議所会頭、（一社）四万十市観光協会会長（代理出席）、（一社）中村青年会議所理事長（WEB参加）、四万十つるの里づくりの会会長、四万十川自然再生協議会会長、高知野鳥の会会長、国土交通省中村河川国道事務所所長（WEB参加）
- ・講 師：鹿児島県出水市長（WEB参加）
- ・事務局：中村河川国道事務所、（公財）日本生態系協会（WEB参加）

●開催状況



●議事

- ・「四万十川流域におけるツル類の飛来・生息状況」、「ワーキングの開催及び取組状況」、「短期目標の達成に向けた取組」について議論した。
また、ツル類の有数の越冬地であり、様々な取り組みを進めている鹿児島県出水市との意見交換会を行った。

●主な意見

□ツル類の越冬環境づくり

- ・今期は、四万十川流域においてツル類の越冬には至らなかった。ツル類の定着に向けて、銃猟の規制や餌場づくりなど具体的な取り組みをさらに考えていく必要がある。

□鹿児島県出水市との意見交換会について

- ・四万十市と出水市との交流を今後も継続し、ツル類の保全や地域振興の様々な面で出水市から助言をいただきたい。
- ・出水市では、ツル類の分散を促すために給餌量の削減に取り組んでいる。四万十市でもツル類が多く越冬できるようになることを願っている。
- ・出水市では、親子3代にわたってのツル類の保護の歴史があり、子どもたちが関わっていることが継続的な活動のポイントになっている。